

職場参加ニュース

障害のある人もない人も共に生きる職場・地域を

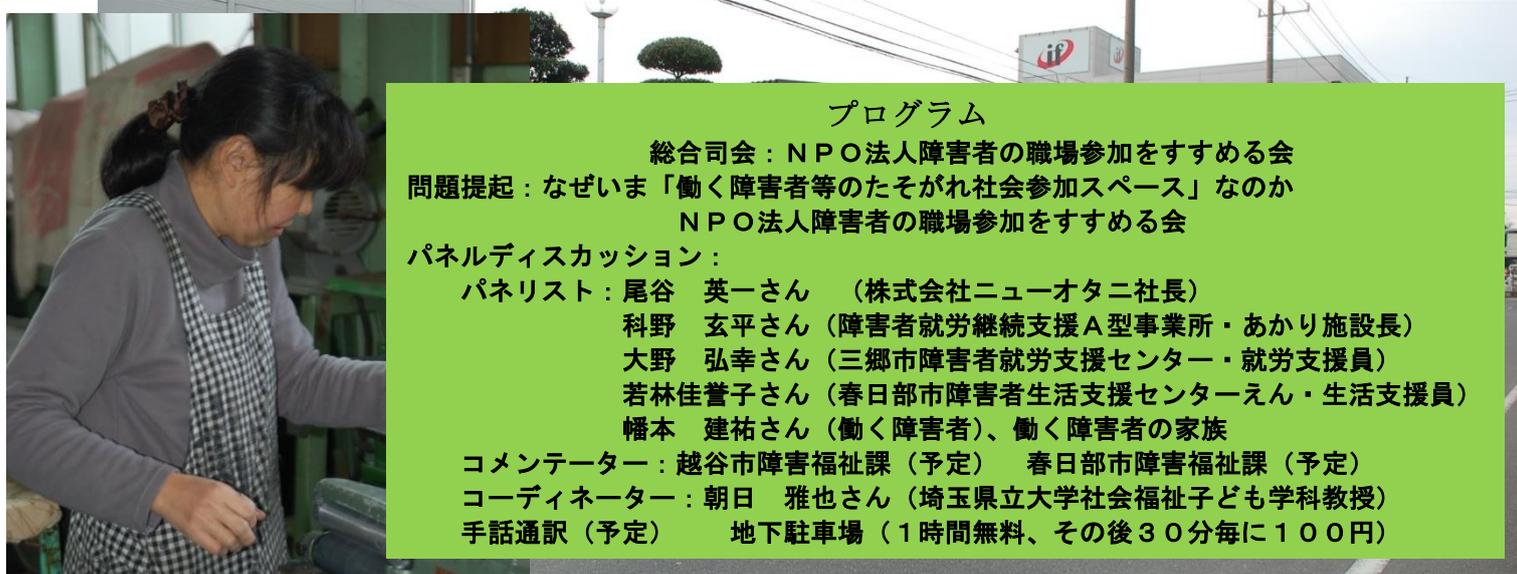


独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業（申請中）

定期総会と記念シンポジウム

働く障害者たちはいま—共に生きる職場・地域を探る

6月12日(日) 総会 13:00～ / シンポ 14:00～ 越谷市中央市民会館5F第 2,3 会議室



プログラム

総合司会：NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

問題提起：なぜいま「働く障害者等のたそがれ社会参加スペース」なのか

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

パネルディスカッション：

パネリスト：尾谷 英一さん（株式会社ニューオタニ社長）

科野 玄平さん（障害者就労継続支援A型事業所・あかり施設長）

大野 弘幸さん（三郷市障害者就労支援センター・就労支援員）

若林佳誉子さん（春日部市障害者生活支援センターえん・生活支援員）

幡本 建祐さん（働く障害者）、働く障害者の家族

コメンテーター：越谷市障害福祉課（予定） 春日部市障害福祉課（予定）

コーディネーター：朝日 雅也さん（埼玉県立大学社会福祉子ども学科教授）

手話通訳（予定） 地下駐車場（1時間無料、その後30分毎に100円）

主催 NPO法人障害者の職場参加をすすめる会 後援：越谷市・春日部市（依頼中）

連絡先：〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 世一 緒 048-964-1819 (FAX 共)

定期総会とシンポジウムのご案内

緑したたる季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

年度替わり早々、熊本を襲った地震は甚大な被害をもたらしました。その後も千数百回の地震が続いています。そんな状況の中、災害弱者と呼ばれる障害者自身が地域で共に生きてきたつながりをベースに、被災地障害者センターくまもとを立ち上げたニュースは、私たちに示唆を与えるものでした。

今年度から障害者差別解消法が施行されましたが、差別を感じとり、その解消のための措置を行うのは、地域で育ち、働き、暮らしている人間たちです。障害者が特別な支援に囲まれていれば差別も見えにくかったものが、地域の学校や職場に入ってゆくことで、具体的な形をとって現れてきます。

障害のない人々にとっては、どうつきあってよいかわからなかったり、一方的に負担を強いられると感じられる場合も少なくありません。障害のある人々のほうでは、やっぱり世間は冷たいと感じたり、なぜわかってくれないのかと悩みがつきません。だからこそ、差別をおそれることなく、関わり合い、ぶつかりあいながら、折り合いを探ることなしに共に生きる道はありません。

当会は10年余りにわたり、多数の障害者の就労支援、職場参加を進めてきました。昨年5月に就労支援センター受託を終えたことを機に、新たな活動のステージへ移行しようとしています。これまでの「職場・地域へ押し出してゆく」活動から、「職場・地域で分け隔てられている同士が出会い、関わり合い、ぶつかりあい、折り合いを探ってゆく」活動への移行です。

今年度の定期総会では、いつものように世一緒スタッフたちがひとこと報告を行います。その多くは就労・職場参加している現場からの報告になるでしょう。また、シンポジウムでは、地域の事業主や施設長、就労支援員、生活支援員からの報告も含めて、地域・職場の全体像を探り、当会の新たな役割を含めて考え合います。

定期総会とシンポジウムに足をお運びくださいますよう、ご案内申し上げます。

6月12日(日) 当日のスケジュール

2016年度定期総会

13:00～13:50

2015年度事業報告/決算報告/監査報告 2016年度事業計画案/予算案/役員改選

記念シンポジウム

14:00～16:30

問題提起：なぜいま「働く障害者等のたそがれ社会参加スペース」なのか 障害者の職場参加をすすめる会

パネルディスカッション： パネリスト：尾谷 英一さん（株式会社ニューオタニ社長）
科野 玄平さん（障害者就労継続支援A型事業所・あかり施設長）
大野 弘幸さん（三郷市障害者就労支援センター・就労支援員）
若林佳誉子さん（春日部市障害者生活支援センターえん・生活支援員）
幡本 建祐さん（働く障害者）、働く障害者の家族

コメンテーター：越谷市障害福祉課（予定） 春日部市障害福祉課（予定）

コーディネーター：朝日 雅也さん（埼玉県立大学） 学社会福祉子ども学科教授

画廊喫茶 & ゲストトーク @ 世一緒 III



4月11日~15日

5人のゲスト迎え完了

気になる街のお仕事人

11日

栗田美和子さん



12日

越野操さん



13日

山崎昭二さん



③

14日

原博子さん
荒井ひとみさん



15日

佐野なな子さん



お茶のみ話からふくらむ街づくり

世一緒としては、昨年4月、9月に続いて3回目の画廊喫茶でした。毎回、障害のあるアーティストの作品を展示してきましたが、今回は根津美 宙（本名・佐野なな子）さんのグラフィックアートを展示させていただきました。

午後のゲストトークも毎回多彩な方々にお願ひしてきましたが、今回は「気になる街のお仕事人」と題して、越谷の街でいま注目される事業を切り拓いている方、失われかけた技を復活させた方などにおいでいただきました。

11日（月）の栗田美和子さんは、世一緒スタッフが就職して働いている（株）クリタエムデリカの社長さん。新事業であるシェアダイニング・サルーテを昨秋開店した時、一軒おいて隣の世一緒で第2回の画廊喫茶が開かれているのに興味をひかれ立ち寄られたのが縁でした。

12日（火）の越野操さんは、3月27日に念願のこしがやエフエムが開局し、超多忙の中お越しいただきました。今後の市民活動、街づくり、災害時も含めた、身の丈に合ったメディアのイメージが具体的になりました。

13日（水）の山崎昭二さんは、世一緒やハローワークが建っている東越谷がまだ川辺の茅原や丘だった頃の風景や生き物を、人形職人になる前の子ども時代の記憶をたぐりよせ生き生きと話してくださいました。

14日（木）は（特非）こしがやともろうの代表・原博子さんと越谷市男女共同参画推進センターほっと越谷施設長・荒井ひとみさんにおいでいただきました。女は家にいるものという差別意識と闘ってきた原さんたちが、市直営だった同施設を、市職員だった荒井さんたちと一緒に運営する場に変えてきた歴史を振り返りました。

15日（金）最終日は、作者の佐野なな子さんをお招きしました。障害のために就学猶予や4年生で学校をあきらめた子供時代。18歳からずっとひきこもって生きてきたこと。凝縮された人生が緻密なアートの奥に潜んでいることがうかがわれました。

小さなスペースでの豊かな語りを通して、小さな縁が枝葉を拡げ、誰もが共に生きる街づくりにつながりそうなお茶の時間が流れていました。

2016年6月～8月 カレンダー

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

6月				7月				8月			
日	日中行事	ほか	たそがれ(予定)	日	日中行事	ほか	たそがれ(予定)	日	日中行事	ほか	たそがれ(予定)
1日	水	日中行事 当番会議		1日	金			1日	月		
2日	木	草工芸		2日	土			2日	火		
3日	金	耳鼻科除軍		3日	日			3日	水	当番会議	
4日	土	わらじ組全体会議		4日	月			4日	木	草工芸	
5日	日	総谷ふれあいの日		5日	火			5日	金		
6日	月			6日	水	当番会議		6日	土	どよう世一精	
7日	火	耳鼻科除軍		7日	木	草工芸		7日	日		
8日	水			8日	金			8日	月		
9日	木	草工芸		9日	土			9日	火	総谷・水辺の市	
10日	金	耳鼻科除軍		10日	日			10日	水		
11日	土	どよう世一精		11日	月	共に学ぶ埼玉集会		11日	木		
12日	日	すすめる会総会	記念シンポ	12日	火	総谷・水辺の市		12日	金	世一精益休み	
13日	月	耳鼻科除軍		13日	水			13日	土		
14日	火	総谷・水辺の市		14日	木	草工芸		14日	日		
15日	水	職場参加を語る会	かつば総会	15日	金			15日	月		
16日	木	草工芸		16日	土			16日	火	総谷・水辺の市(予備)	
17日	金	耳鼻科除軍		17日	日			17日	水	職場参加を語る会	
18日	土		かがり屋総会	18日	月			18日	木	草工芸	世一精ゆきす
19日	日			19日	火	総谷水辺の市(予備)		19日	金	水上公園共同作業	
20日	月	共同要注全体会	事務局会議	20日	水	職場参加を語る会		20日	土		
21日	火	総谷水辺の市(予備)		21日	木	草工芸		21日	日		
22日	水	ピアサポ研究会		22日	金	水上公園共同作業		22日	月	水上公園予備	事務局会議
23日	木	草工芸		23日	土			23日	火		ちんどんボード
24日	金	水上公園共同作業		24日	日			24日	水	ピアサポ研究会	
25日	土		ネットワーケ合宿	25日	月	水上公園予備	事務局会議	25日	木	草工芸	
26日	日		ネットワーケ合宿	26日	火			26日	金	わらじ夏合宿	
27日	月	水上公園予備		27日	水	ピアサポ研究会		27日	土	わらじ夏合宿	
28日	火		どくんどくんどくんどく	28日	木	草工芸		28日	日	わらじ夏合宿	
29日	水		どくんどくんどくんどく	29日	金			29日	月		
30日	木	草工芸	どくんどくんどく	30日	土	総谷花火大会	CLくつちやべる会	30日	火	総合県交渉	
				31日	日			31日	水	総合県交渉	

2016年6月～8月 カレンダー の読み方

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

日中行事:

世一緒は従来通り、月～金の 10:00～16:00 「見世」を開いています。「店」としては、古本を毎日、野菜を毎月15日・30日前後の 2 回販売しています。5円コピーはセルフが難しい方にも好評です。就労準備中の障害者スタッフによる「当番」は、多くが企業やA型等の福祉サービス事業所などに出て行き少なくなりました。

代わって、グループワークや革細工、語る会などの活動に参加したり、会社のシフトで空いている日に立ち寄るといふかたちが主になってきています。世間に開かれた場としての「見世」です。

もともと障害者スタッフの中には、ひきこもっている人、家事を抱えている人など、世一緒に定期的に来るのは難しいけれど、水上公園やポスティングなどのグループワークには必ず参加する人も少なくありませんでした。そのため、グループワークは今年度さらに増やしています(ポスティング、除草など)。

革細工は、毎週木曜日に、特別支援学級、学校の教員を定年退職し、就労支援センターの支援員も務めた大塚さんが初歩から教えてくれます。

ほかに、月1回「どよう世一緒」として、主に会社で働いている人たち向けに、世一緒を開いています。

ほか:

これまでも原則第2木曜日 19:00 から、開かれてきた「世一緒 de キネマ」は、300円で軽食付き、その時々合わせた楽しい映画の夜です。仕事帰りやグループホーム暮らしの人などが常連ですが、どなたでも参加できます。

そのほか、この欄には、当会と関りのある団体のイベントなども紹介してあります。

たそがれ(予定):

総会終了後に、「たそがれ社会参加スペース世一緒」の事業を始めてゆきます。福祉サービス事業所終了後の夕方から、会社帰りのたそがれ時にかけて、週3日を目標に世一緒を開きます。そのために車いすを使用してこの街で生きてきた人たちとサポーターに、管理人をお願いしています。

当面は特にプログラムを設けず、ふらりと立ち寄れるスペースとしますが、地域の高齢者等で各々の得意なわざを披露したり、教えたりしたい人がおられたら、日によっては「舞台」や「教室」を開くこともあるかもしれません。お楽しみに。

カレンダーでは、月、水、木を予定日にしてありますが、あくまで「予定」であり、変更もありえます。

職場・地域ひろがり つうしん



甲冑巡り等と連動で5/3 水辺の市

当会が実行委員会の裏方になって毎月第2火曜、越谷市役所東側の葛西用水ウッドデッキで開いている越谷水辺の市も間もなく2年。5月3日には宿場通りの甲冑巡り、久伊豆神社の藤まつりと連動して祝日開催。この日は就労している世一緒スタッフらの出勤で世一緒も店を出しました。

午後には翌週末にウッドデッキで開かれる越谷葱フェスに向けて、越谷葱音頭の踊りも行われ、誘われて世一緒のスタッフやサポーターも踊りの輪に。



しらこぼと水上公園皆で夏の花を

公益財団法人埼玉県公園緑地協会から当会が年間を通じて業務委託を受けているしらこぼと水上公園の花壇整備作業が今年も5月から本格的にスタート。世一緒スタッフの他、就労A、B、生活介護、院内デイケアなど10施設がそれぞれの持ち味を生かして共同作業を行っています。20日は、協会本部の技術部小林さんと管理事務所の青戸さんも一緒に作業や全員ミーティングに参加されました。

生き物を育てながら、人と人の関係を育てる貴重な機会をいただいています。



県庁みどりの広場でかっぽフェスタ

世一緒スタッフも時々県庁内の巡回販売を手伝っている県庁第2庁舎1Fのアンテナショップかっぽが19周年を迎え、5月18・19日、かっぽフェスタがにぎやかに開かれました。

自主生産品をかっぽに委託している施設や店番に入っている施設などが店を出し、かっぽでも加須市、伊奈町観光課と連携して五家宝やバラのジャムなどを販売。県のHPでも呼びかけ、二日目には知事も買い物に。



「たそがれ世一緒」研修スタート

5月25日(水)午後、当会の新事業として準備中の「働く障害者等のたそがれ社会参加スペース」に向けたスキルアップ研修が世一緒で開かれました。

この事業は仕事や活動を終えた後、立ち寄れるよう夕方時間帯に世一緒を開けようというもの。その管理人として地域の重度障害者とサポーターを予定しており、その候補者向けの研修でした。

講師は生活支援センター「苞」の田名部所長とくらしセンターべしみの星名施設長。障害者の生活と仕事をめぐる現状や支援について学ぶとともに、お互いの自己紹介と近況報告を交わしました。

たまたま相談に見えていたご一家や、仕事帰りの世一緒スタッフらが飛び入り参加し、「たそがれ社会参加スペース」の予行演習のような雰囲気での研修になりました。次回は6月22日(水)開催します。

世一緒 スタッフ日記

病気や家庭、社会からの解放

松丸 和弘

アルコール依存症で家庭を無茶苦茶にした父、子供達が別れてくれと頼んでもけんかしながらも別れようとしてくれなかった母、中学の二年の時、陰湿ないじめをしかけた奴ら、高校の時のラグビー、その後、続けていた音楽、全て一先けん命やっつけて、手の届くあたりに近づくと故障をして断念せざるを得なくなる自分の体の弱さを恨みました。

社会に出ても、サラリーマンの価値観と合わず、何をやってもうまくいかなくてやけになっていた時、初めて飲み屋で会った人に紹介された仕事をきっかけに、会社の社長になりどんどん成長して大きくなっていきましました。そうしたら今度は、自分の持病の精神病とストレスで父と同じアルコール依存症に陥ってしまい、会社を閉鎖に追い込んでしまいました。

その頃、自分がいろいろな病気や体の弱さをもって生れてきた事自体を恨んで生きていました。

その後、母がパーキンソン病になり約七年位つきっきりの介護をしました。母が入院してしまったのをきっかけに、いろいろアルバイトをしてみたんですが、心身共に力が落



世一緒では、障害や病気その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し、よりよく生きるために、世一緒に関わっている人々を「スタッフ」と呼んでいます。世一緒は専門家が障害者を指導・訓練する場ではありません。現に就労していたり、就労準備中であつたり、離職後だつたり、立場はさまざまながら、街の中でほかのみんなと一緒に生きてゆく道を探ることが世一緒の事業です。サポーター（非常勤やボランティア）の支えを受けて、世一緒の当番（ピアサポート実習）や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事（花壇整備、除草、ポスティング）のグループワーク、主婦や高齢者が地元のお店や事業者と一緒に街になぎわいを創りだすための「水辺の市」の手伝いなどもしています。

ちてしまったようで、ほとんど半日、一日で首になってしまい、ひどいうつ状態になってしまいました。

二年半前迄、自分の精神病を恨み、何とか生活保護で生き延びているだけで、生きている意味さえ解かりませんでした。

ところが、二年程前に、担当の先生から、君の病気は、現在いろいろ臨床実験は、行われているが、君が生きている間は絶対に新薬も療法も出来ることはないから、死ぬ迄、この病気とつきあいながら、何が出来るかという事を考えなさいとはっきり言われ、逆に今迄の恨みやもやがなくなりました。

父母も死去している今、今迄の体験やこれから身につけたいと思っている教養をつけて、自分が思う理不尽と死ぬ迄戦っていきたくと思っています。今、僕は解放されました。

まだわかりません

内藤 雄介

アイルビーバックに行こうと思つた理由は、自分が働きたいと思つたからです。

それと、働いてお金がほしいからです。

ほしい物などがいっぱいあるからです。あとは、他の世一緒のメンバーがA型などの仕事先がきまつたからです。

私は母と一緒にアイルビーバックに行き、その中でやっている仕事などを見学し、それに体験などもしてきました。

おもな仕事は、はこをくみ立てたりしました。かんたんできまぐれです。

それに家から30分という少し長い時間ですが、まだ入れるかどうかわかりません。

Cloud9 越谷に入社して

山崎 有子

私は2月10日、Cloud9 越谷に見学に行きました。タオルおりを初めて体験しました。Cloud9 職員さんにほめられてよかったです。

2月22日、Cloud9 入社をしました。タオルおりとかたばこのはおおりの、PC作業、ふうとうおりとかやりました。池本さん、木田さん、竹林さんにしんせつに教えて下さつてうれいんです。友達も何人か出来てよかったです。月の終わりに、Cloud9 の友達とカラオケに行きました。たのしくすごしています。

あわてず仕事をさがす

佐藤 秀一

毎月の給料で家族をばんにしようたいしています。5月の母の日にクレマチスの花をあげました。母親はよろこびました。休まずがんばっています。母親もよろこんでいてすごうれいんです。これからはがんばりたいと思います。

はじめはともだちからA型のほうの仕事においてとさそわれたのでみいった。いくとときにとちゅうでころんでしまった。けんがくしたらせまくてつえもつかえないところだめだと思つた。

そのあとしゅうろうしえんセンターに親もよばれていった。B型をみていったらどうかといわれたのでみていったけどいきたくと思いませんでした。

お母さんと家で話しあつて妹も来てくれて、あわててさがしてもしよるがないからおちついてさがしたほうがいいと言つてくれた。そのうちにいい仕事があるかも、あわててさがしてもみつからないよと言つた。自分でアルバイトとかパートをさがしてみようかなと思つた。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

当会はみなさまの会費と寄付金等により支えられています。どうぞ、ご協力をお願いします。

〒344-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 世一緒内 (ハローワーク斜向かい)
048-964-1819 (fax 共) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp http://www5b.biglobe.ne.jp/~yellow/

